

グリース挙動解析の並列化効率調査

大阪大学大学院 工学研究科 NTN次世代協働研究所 河島 誠人

目的 並列計算によるグリース挙動解析の高速化

内容 OpenFOAMの気液2相流ソルバーを用いて軸受内のグリース挙動を解析し、解析条件ごとの並列化効率を1~28ノードの範囲で調べた。

結果 支配方程式の解法とモデル離散化方法による並列化効率の変化を確認し、並列計算に効果的な解析条件に関する知見を得た。

利用した計算機	SQUID 汎用CPUノード群
ノード時間	10,500 時間 (3/23時点)
並列化	1~28ノード